



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月2日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東
 コード番号 2675 URL http://www.dynac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長
 管理本部長 法務・総務部長 (氏名) 大和田 雄三 TEL 03-3341-4216
 品質保証本部長 CSR推進担当
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 平成24年9月18日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第2四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	16,033	-	55	-	45	-	109	-
23年12月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	15.51	-
23年12月期第2四半期	-	-

（注）当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、前年同四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	14,201	2,928	20.6
23年12月期	15,020	3,054	20.3

（参考）自己資本 24年12月期第2四半期 2,928百万円 23年12月期 3,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	-	-	2.50	2.50
24年12月期	-	5.00	-	-	-
24年12月期（予想）	-	-	-	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	-	860	-	800	-	280	-	39.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（注）当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 有

修正再表示： 無

(注) 「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は添付資料3ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	7,033,000株	23年12月期	7,033,000株
期末自己株式数	24年12月期2Q	88株	23年12月期	88株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	7,032,912株	23年12月期2Q	-株

(注) 当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、期中平均株式数(四半期累計)の23年12月期2Qは記載しておりません。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられて企業の生産活動や設備投資に緩やかな回復の動きが見られるものの、欧州の財政金融危機を背景とした円高の影響、株式市場の低迷など、景気の先行き不透明感が増しており、依然として厳しい状況が続いております。

外食業界におきましては、改善の動きが鈍い雇用・所得環境に加え、消費増税法案等を巡る国内政治の動向もあり、消費者の生活防衛意識が依然強く、厳しい経営環境にあります。

このような環境の下、当社は「お客様の感動満足」を起点とした会社の成長を目指し、「お客様目線での活動」、「お客様の声に耳を傾けて活動するVOC（Voice of Customer）活動」などを実施することにより、お客様ニーズにきめ細かく対応してまいりました。また、食の「安心・安全」の観点から衛生管理の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間における新規出店及びリニューアルは、新鮮な魚介類を低価格で提供する海鮮酒場「魚盛」及びゴルフ場レストランの計4店舗を新規出店し、既存の1店舗をビストロバル「有楽町ワイン倶楽部」にリニューアルする一方、不採算店舗や契約期間満了の事由により8店舗を閉店いたしましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は241店舗となりました。

当第2四半期累計期間における業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」による顧客拡大と同会員を対象としたお得なキャンペーン情報の提供並びに「グルメガイド」配布、幹事様・主賓様向けの宴会特典付キャンペーンの販売促進活動に継続的に取り組むとともに、共通食材を多業態で販売するランチ営業（ジュシーサーロインステーキランチ）などにより、売上高は16,033百万円となりました。

利益面では、引き続き原価管理を含む店舗運営コストコントロールによる収益率の向上に努めましたが、天候不順などの影響もあり固定費が吸収できず、経常損失は45百万円、四半期純損失は109百万円となりました。

当該事業の形態別概況は以下のとおりです。

レストラン・バーの業績の概況は、ほぼ前述のとおりであり、売上高は14,668百万円、売上総利益は1,475百万円となりました。

ケータリングは、売上高は393百万円、売上総利益は37百万円と堅調に推移いたしました。

その他は、「針テラスドライブイン」の売店収入の伸張などにより、売上高は970百万円、売上総利益は132百万円となりました。

なお、当社は前事業年度より決算日を9月30日から12月31日に変更しております。このため、前事業年度は平成23年10月1日から平成23年12月31日までの3ヶ月決算となっておりますので、前年同四半期との比較は行っていません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は14,201百万円となり、前事業年度末と比べ818百万円の減少となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ371百万円の減少となりました。これは主に売掛金が302百万円、原材料及び貯蔵品が42百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ446百万円の減少となりました。これは主に建物が135百万円、敷金及び保証金が287百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ691百万円の減少となりました。これは主に買掛金が405百万円、短期借入金が90百万円、未払費用が195百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ126百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が126百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より0.3ポイント増加の20.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ45百万円減少の253百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、121百万円となりました。これは主に売上債権の減少額302百万円、たな卸資産の減少額53百万円による資金獲得及び減価償却費の計上349百万円と仕入債務の減少額405百万円、未払費用の減少額198百万円の資金使用によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、56百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出271百万円、店舗等撤退による支出42百万円、その他に含まれる無形固定資産の取得による支出37百万円と敷金及び保証金の回収による収入307百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、110百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出90百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年5月7日の「平成24年12月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	298,705	253,433
売掛金	1,834,737	1,532,422
商品	46,574	35,508
原材料及び貯蔵品	213,080	170,382
その他	773,481	802,414
貸倒引当金	14,000	13,000
流動資産合計	3,152,579	2,781,161
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,539,594	4,404,028
その他(純額)	511,410	498,608
有形固定資産合計	5,051,005	4,902,636
無形固定資産		
投資その他の資産	67,929	97,991
敷金及び保証金	5,894,986	5,607,901
その他	1,300,824	1,259,612
貸倒引当金	447,318	447,396
投資その他の資産合計	6,748,491	6,420,117
固定資産合計	11,867,426	11,420,745
資産合計	15,020,006	14,201,907

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,398,957	1,993,124
短期借入金	1,400,000	1,310,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	1,100,000
未払法人税等	74,500	75,000
未払費用	1,958,332	1,763,207
役員賞与引当金	5,000	14,000
資産除去債務	12,216	6,222
その他	596,906	556,767
流動負債合計	7,545,912	6,818,321
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,400,000
退職給付引当金	1,127,099	1,152,878
役員退職慰労引当金	64,736	70,398
資産除去債務	743,453	740,646
その他	84,336	91,583
固定負債合計	4,419,625	4,455,507
負債合計	11,965,538	11,273,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	347,747	221,117
自己株式	99	99
株主資本合計	3,054,447	2,927,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20	260
評価・換算差額等合計	20	260
純資産合計	3,054,468	2,928,078
負債純資産合計	15,020,006	14,201,907

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	16,033,444
売上原価	14,387,097
売上総利益	1,646,347
販売費及び一般管理費	1,701,420
営業損失()	55,072
営業外収益	
受取利息	387
受取配当金	176
営業補償金	33,831
その他	1,466
営業外収益合計	35,861
営業外費用	
支払利息	24,642
その他	2,071
営業外費用合計	26,714
経常損失()	45,925
特別利益	
固定資産売却益	5,000
特別利益合計	5,000
特別損失	
固定資産除却損	18,875
店舗等撤退損失	18,322
特別損失合計	37,197
税引前四半期純損失()	78,123
法人税、住民税及び事業税	32,529
法人税等調整額	1,606
法人税等合計	30,923
四半期純損失()	109,047

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失()	78,123
減価償却費	349,352
店舗等撤退損失	18,322
貸倒引当金の増減額(は減少)	745
受取利息及び受取配当金	563
支払利息	24,642
売上債権の増減額(は増加)	302,753
たな卸資産の増減額(は増加)	53,764
仕入債務の増減額(は減少)	405,832
未払費用の増減額(は減少)	198,935
その他	126,334
小計	190,969
利息及び配当金の受取額	563
利息の支払額	20,832
法人税等の支払額	49,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	271,481
敷金及び保証金の差入による支出	15,661
敷金及び保証金の回収による収入	307,379
店舗等撤退による支出	42,912
その他	33,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	90,000
配当金の支払額	20,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	110,035
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	45,272
現金及び現金同等物の期首残高	298,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	253,433

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。